

# パソコン接続

データ通信.....	432
ご使用になる前に.....	434
データ転送(OBEX™通信)の準備の流れ.....	434
データ通信の準備の流れ.....	435
ATコマンドについて.....	435
CD-ROMを利用する.....	436
ドコモケータイdatainkの紹介.....	436

データ通信の詳細については、付属のCD-ROM※内またはドコモのホームページ上のPDF版「パソコン接続マニュアル」をご覧ください。  
PDF版「パソコン接続マニュアル」をご覧になるには、Adobe® Reader®が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROMからインストールできます。ご使用方法などの詳細につきましては、「Adobe Readerヘルプ」をご覧ください。

※ 付属のCD-ROMをパソコンにセットすると、TOP画面が表示されます。[取扱説明書] ▶ [パソコン接続マニュアル(PDFファイル)]をクリックします。  
何らかの理由によりTOP画面が表示されない場合は、[マイコンピュータ] ▶ [SH-02B]を選んで右クリックし、[エクスプローラ]をクリックし、[manual]  
をダブルクリックし、[SH-02B\_J\_Manual.pdf]をダブルクリックします。

## データ通信

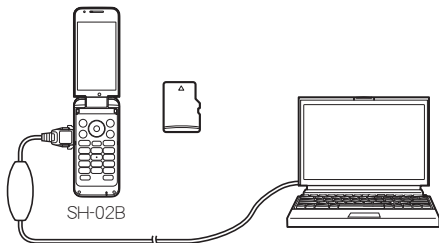
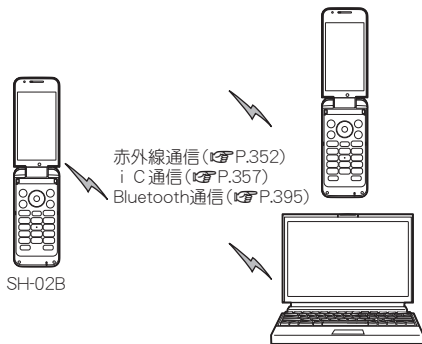
### FOMA端末から利用できるデータ通信

FOMA端末の通信形態は、パケット通信、64Kデータ通信、データ転送の3つに分類されます。

- FOMA端末はFAX通信をサポートしていません。
- FOMA端末をsigmarionⅢと接続してデータ通信を行うことができます。ハイスピードエリア対応の高速通信には対応していません。
- FOMA端末は、Remote Wakeupには対応していません。
- 海外では、パソコンなどと接続しての64Kデータ通信は利用できません。
- 海外でパケット通信を行う場合は、IP接続で通信を行ってください(PPP接続ではパケット通信できません)。

#### ■ データ転送(OBEX™通信)

画像や音楽、電話帳、メールなどのデータを、FOMA端末と他のFOMA端末やパソコンなどの間で送受信します。



FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02(別売)  
microSDカード (☞ P.334)  
ドコモケータイdatalink (☞ P.436)

#### ■ パケット通信

送受信したデータ量に応じて課金されます。ネットワークに接続中てもデータの送受信を行っていないときは通信料がかからないので、ネットワークに接続したまま必要なときにデータの送受信を行うという使いかたができます。

ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」など、FOMAのパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、受信最大7.2Mbps、送信最大384kbpsの高速通信を行うことができます(通信環境や、電波などが混み合った状態の影響により通信速度が変化するベストエフォート方式による提供です)。

- 最大7.2Mbps、最大384kbpsとは、技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。実際の通信速度は、ネットワークの混み具合や通信環境により異なります。
- FOMAハイスピードエリア外やHIGH-SPEEDに対応していないアクセスポイントに接続するとき、またはドコモのPDA「sigmarionⅢ」などHIGH-SPEEDに対応していない機器をご利用の場合は、通信速度が遅くなる場合があります。

パケット通信はFOMA端末とパソコンなどをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02(別売)やBluetooth機能で接続して、各種設定を行うと利用できます。メールの文字データの送受信など、比較的少ないデータ量を高速でやりとりする場合に適しています。

データ量の大きいファイルの送受信を行った場合、通信料金が高額になりますので、ご注意ください。

FOMA端末では、パソコンなどによるパケット通信と音声電話を同時に利用できます(※P.369)。

## ■ 64Kデータ通信

接続している時間に応じて課金されます。ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」など、FOMA 64Kデータ通信に対応したアクセスポイント、またはISDNの同期64Kアクセスポイントを利用します。

64Kデータ通信はFOMA端末とパソコンなどをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02やBluetooth機能で接続して、各種設定を行うと利用できます。データBOXコンテンツのダウンロードなど、比較的データ量の多い送受信を行う場合に適しています。

長時間通信を行うと、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

## ご利用にあたっての留意点

### ■ インターネットサービスプロバイダの利用料について

インターネットをご利用の場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダに対する利用料が必要になります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に、インターネットサービスプロバイダにお支払いいただけます。利用料の詳しい内容については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。

ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」をご利用いただけます。「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要(有料)となります。

### ■ 接続先(インターネットサービスプロバイダなど)の設定について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときは、FOMA/パケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。

- DoPaのアクセスポイントには接続できません。
- moperaのサービス内容および接続設定方法についてはmoperaのホームページをご確認ください。

<http://www.mopera.net/mopera/index.html>

### ■ パケット通信および64Kデータ通信の条件

日本国内でデータ通信(パケット通信/64Kデータ通信)を行うには、次の条件が必要になります。

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02を利用できるパソコンであること
- Bluetooth機能を利用する場合は、パソコンがBluetooth標準規格Ver.1.1、Ver.1.2またはVer.2.0+EDR(タイダルアップネットワークワーキングプロファイル)に対応していること
- FOMAサービスエリア内であること
- パケット通信の場合、アクセスポイントがFOMAのパケット通信に対応していること
- 64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64Kに対応していること

ただし、前述の条件が整っていても、基地局が混雑していたり、電波状況などにより通信ができないことがあります。

- パケット接続を行う場合は、FOMA端末と接続する機器がJATE(財団法人電気通信端末機器審査協会)の認定品である必要があります。

### ■ ブラウザ利用時のアクセス認証について

パソコンのブラウザでFirstPass対応サイトを利用するときのアクセス認証ではFirstPass(ユーザ証明書)が必要です。詳しくはドコモのホームページをご覧ください。

## ご使用になる前に

### 動作環境

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は次のとおりです。

項目	必要環境
パソコン本体	PC/AT互換機 FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02(別売)を使用する場合:USBポート (Universal Serial Bus Specification Rev.1.1/2.0準拠) Bluetooth機能を利用する場合:Bluetooth標準規格 Ver.1.1、Ver.1.2またはVer.2.0+EDR準拠(タイヤルアップネットワークングプロファイル) ディスプレイ解像度800×600ドット、High Color 16ビット以上を推奨
OS	Windows 2000、Windows XP、Windows Vista(各日本語版)
必要メモリ	Windows 2000:64MB以上 Windows XP:128MB以上 Windows Vista:512MB以上
ハードディスク容量	5 MB以上の空き容量 ● ドコモ コネクションマネージャは35MB以上の空き容量

- 動作環境の最新情報については、ドコモのホームページをご確認ください。
- 必要メモリ・ハードディスク容量は、パソコンのシステム構成によって異なる場合があります。
- OSアップグレードからの動作は保証いたしかねます。
- 動作環境によってはご使用になれない場合があります。また、上記の動作環境以外でのご使用による問い合わせおよび動作保証は、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

### 必要な機器

FOMA端末とパソコン以外に次のハードウェア、ソフトウェアを使います。

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02(別売)\*、またはFOMA USB接続ケーブル(別売)\*
  - CD-ROM「SH-02B用CD-ROM」(付属)
- ※ USB接続の場合

- USBケーブルは専用の「FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02」、または「FOMA USB接続ケーブル」をご利用ください。パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。
- USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

### データ転送(OBEX™通信)の準備の流れ

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02(別売)をご利用になる場合は、FOMA通信設定ファイルをインストールしてください。

FOMA通信設定ファイルをダウンロード、インストールする

- 付属のCD-ROMからインストール
- ドコモのホームページからダウンロードして、インストール



データ転送

## データ通信の準備の流れ

パソコンとFOMA端末を接続して、パケット通信および64Kデータ通信を利用する場合の準備について説明します。次のような流れになります。

### USB接続の場合

FOMA通信設定ファイルをダウンロード、インストールする

- 付属のCD-ROMからインストール
- ドコモのホームページからダウンロードして、インストール

パソコンとFOMA端末をFOMA充電機能付USB接続ケーブル 02 (別売) で接続する (P.345)

インストール後の確認をする

ドコモ コネクションマネージャをインストールする

ドコモ コネクションマネージャでデータ通信の設定をする\*

接続する

### Bluetooth接続の場合

パソコンとFOMA端末をBluetooth機能を利用してワイヤレス接続する

モデムの確認をする

ドコモ コネクションマネージャを使わずに通信の設定をする

- パケット通信
- 64Kデータ通信

接続する

\* ドコモ コネクションマネージャの設定については、「ドコモ コネクションマネージャ操作マニュアル.pdf」をご覧ください。

- FOMAでインターネットをするには、ブロードバンド接続などに対応した「mopera U」(お申し込み必要)が便利です。使用した月だけ月額使用料がかかるプランもございます。

## FOMA通信設定ファイルについて

FOMA端末とパソコンをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02で接続してデータ通信を行うには、付属のCD-ROMからFOMA通信設定ファイルをインストールする必要があります。

## Bluetooth接続を準備する

Bluetooth対応パソコンとFOMA端末をワイヤレス接続してデータ通信を行います。

- Bluetooth接続の詳細についてはP.387

## ドコモ コネクションマネージャについて

付属のCD-ROMからドコモ コネクションマネージャをパソコンにインストールして使うと、FOMA端末とパソコンを接続して行うパケット通信や、64Kデータ通信に必要なさまざまな設定を、簡単に行うことができます。

## ATコマンドについて

ATコマンドとは、パソコンでFOMA端末の各機能を設定するためのコマンド(命令)です。パソコンでコマンドを入力すると、その内容に従ってFOMA端末が動作します。

ATコマンドの詳細は付属のCD-ROM内の「パソコン接続マニュアル」をご覧ください。

## CD-ROMを利用する

取扱説明書付属のCD-ROMには、FOMA端末でデータ通信をご利用になる際のソフトウェアや、「パソコン接続マニュアル」「区点コード一覧」取扱説明書(PDF)が収録されております。詳細は、付属のCD-ROMをご覧ください。

- CD-ROMをパソコンにセットすると、警告画面が表示される場合があります。この警告は、Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。  
[はい]をクリックしてください。

## ドコモケータイdatalinkの紹介

ドコモケータイdatalinkは、お客様の携帯電話の「電話帳」や「メール」などをパソコンにバックアップして、編集などを行うソフトです。ドコモのホームページにて提供しており、詳細およびダウンロードは下記サイトのページをご覧ください。また、付属されているCD-ROMから下記サイトへのアクセスも可能です。

<http://datalink.nttdocomo.co.jp/>

ダウンロード方法、転送可能なデータ、対応OSなど動作環境、インストール方法、操作方法、制限事項などの詳細については上記ホームページをご覧ください。

また、インストール後の操作方法については、ソフト内のヘルプをご覧ください。

なお、ドコモケータイdatalinkをご利用になるには、別途USB接続ケーブル(別売)が必要になります。